

平成 30 年 4 月 27 日

那覇市議会議長

翁長 俊英 様

議員名 上原 仙子



平成 29 年度政務活動費収支報告について

那覇市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、別紙のとおり平成 29 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

平成 29 年 8 月分 ～ 平成 30 年 3 月分

平成29年度政務活動費収支報告書

議員名 上原 仙子

1 収 入

政務活動費 720,000 円

2 支 出

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|----------|-----|
| 調 査 研 究 費 | 81,930円 | |
| 研 修 費 | 35,162円 | |
| 広 報 費 | 0円 | |
| 広 聴 費 | 0円 | |
| 要請・陳情活動費 | 0円 | |
| 会 議 費 | 0円 | |
| 資 料 作 成 費 | 4,104円 | |
| 資 料 購 入 費 | 18,900円 | |
| 人 件 費 | 0円 | |
| 事務所費 | 0円 | |
| 合 計 | 140,096円 | |

3 残 額 579,904

平成29年度 会計明細

議員名 上原 仙子

| 項目合計 / 支出 | | |
|-------------|-----------------------|---------|
| 区分 | 種別 | 集計(円) |
| 調査研究費 | ガソリン代 | |
| | 調査研究 駐車料金 | |
| | 調査研究 高速料金 | |
| | 調査研究 タクシー代 | |
| | 調査研究 モノレール代 | |
| | 調査委託費 | |
| | 調査研究 通信費 携帯電話利用料 | |
| | 調査研究 通信費 タブレット端末代 | |
| | 視察旅費 10/25～10/27 出張分 | 81,930 |
| 調査研究費 集計 | | 81,930 |
| 研修費 | 研修旅費 / ~ / 出張分 | |
| | 研修会開催費用 | 35,162 |
| 研修費 集計 | | 35,162 |
| 広報費 | 広報紙・報告書作成費 | |
| | 広報用通信運搬費 葉書封筒代・切手代・送料 | |
| | 広報用消耗品代 | |
| | 広報用会場費 | |
| | 広報ホームページ作成・管理費 | |
| 広報費 集計 | | |
| 広聴費 | 広聴 駐車料金 | |
| | 広聴 高速料金 | |
| | 広聴 タクシー代 | |
| | 広聴 モノレール代 | |
| 広聴費 集計 | | |
| 要請・陳情活動費 | 資料印刷費 | |
| 要請・陳情活動費 集計 | | |
| 会議費 | 会議旅費 / ~ / 出張分 | |
| 会議費 集計 | | |
| 資料作成費 | 穴あけパンチ代 | 4,104 |
| 資料作成費 集計 | | 4,104 |
| 資料購入費 | 図書購入費 | |
| | 新聞代 日本教育新聞 | 18,900 |
| 資料購入費 集計 | | 18,900 |
| 人件費 | 雇用経費 | |
| 人件費 集計 | | |
| 事務所費 | 事務所の賃借料 | |
| | 維持管理費 (光熱水費他) | |
| | 備品購入費 | |
| | 通信費 固定電話利用料 | |
| | 通信費 インターネット利用料 | |
| 事務所費 集計 | テレビ視聴料金 | |
| 総計 | | 140,096 |

調查研究費

平成 30 年 3 月 27 日

那覇市議会議長 様

議員名 上原 仙子



出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

| | | |
|---------------|---|-----|
| 期 間 | 平成 29 年 10 月 25 日 ~ 平成 29 年 10 月 27 日 2泊 3日 | |
| 月 日 | 日 程 | 内 容 |
| 別紙報告書をご覧ください。 | | |

市内を含む旅費明細 (1 名分)

| 航空賃 | 宿泊費 | 永平寺外拝 観案内料 | 交通費 | その他 | 合 計 |
|----------|--------|---------------|----------|-----|----------|
| 65,260 円 | 航空賃を含む | 500 円 | 16,170 円 | 円 | 81,930 円 |

[所 見]

別紙報告書をご覧下さい。

視察日程表

| 日次 | 時刻 | 行程 | 旅費 | 宿泊 |
|--|--------------|--|------------|-------------------|
| 1日目 | 10/25 (水) | 首里駅 | 330 | 【福井市】 ホテルフジタ福井 |
| | | 06:45 那覇空港集合 | (65,260) | |
| | | 07:20 那覇空港発【JTA002便】 | | |
| | | 09:10 関西空港着 | 7,780 | |
| | | 09:46 【JR特急はるか12号京都行(4番線発／11番線着)】 | | |
| | | 10:35 【乗り継ぎ 新大阪着】 | | |
| | | 10:46 【JR特急サンダーバード17号・金沢行(12番線発／1番線着)】 | | |
| 12:30 福井着 | - | | | |
| 福井駅【京福バス(or徒歩11分)】 | - | | | |
| 14:20 駅前大通り／社北小学校前下車 | - | | | |
| 【京福バス 70運動公園線(道守高校先回り)・福井駅行】 | - | | | |
| 15:00 ■社北公民館 | 230 | | | |
| 社北小学校前→東映前下車 | | | | |
| 【京福バス 71運動公園線(ベル前先回り)・福井駅行】 | - | | | |
| 17:00 ホテル着 | - | | | |
| 2日目 | 10/26 (木) | 09:00 ホテル出発 | 390 | 【福井市】 ホテルフジタ福井 |
| | | 09:25 福井→松岡駅 | | |
| | | 【えちぜん鉄道勝山永平寺線・勝山行】 | | |
| | | 09:49 ■永平寺町魅力発信交流施設えい坊館 | | |
| | | 商工観光課長より説明 -11:00 | | |
| 11:00 移動(大本山へ) | (500) | | | |
| 11:20 門前町・永平寺門前の案内(観光ボランティアガイド) -12:00 | | | | |
| 永平寺→福井駅【京福バス】 | 720 | | | |
| 17:00 ホテル着(福井市) | - | | | |
| 3日目 | 10/27 (金) | 09:00 ホテル出発 | 2,840 | |
| | | 09:36 福井駅→滋賀県長浜 | | |
| | | 【JR特急しらすぎ56号・米原行(5番線発／1番線着)】 | | |
| | | 10:37 【徒歩4分】 | | |
| | | 10:44 黒壁スクエア | 4,210 | |
| 長浜駅→関西空港 | | | | |
| 20:15 関西空港発 | 330 | | | |
| 【ANA NH1739便】 | | | | |
| 22:20 那覇空港着 | - | | | |
| 首里駅 | - | | | |
| | | | 82,590 | |

福井市立社北公民館視察報告

福井県福井市では公民館の対象区域を小学校通学区域と定め、市内全小学校区に一つの公民館、そして市内全域を対象とする中央公民館があり、8ブロック 50館で構成される。小学校区という地域の活動拠点として公民館が果たす役割や地域課題への取り組み、行政施策の浸透方法等、どのような仕組みの下で行われているのか視察を行った。

【対応】福井市立社北公民館 ■■■■■様

■■■■■様（社北公民館に12年間勤務）

※ 社北公民館は平成25年度優良公民館表彰において最優秀賞を受賞

【視察内容】

1. チャオカード作戦について

当事業は児童館との連携事業で、実施後10年目を迎える。スタンプラリーによるポイント制により毎回の参加を促し、年間の皆出席者を表彰する。毎回100名以上の参加者となる。縦割りといわれる中で他部局の児童館と公民館の連携は難しいものと考えられるが、主事である田中さんが公民館採用間もない頃から近くの児童館との連携を考え、日頃から交流を持ち、ちょうど、児童館館長も新任となって相談しやすい環境となり、事業の準備期間として一年をかけ、本スタートとなった。

チャオカード作戦の工夫として、親子で参加する仕組みづくりを行ったこと。親を巻き込み、子どもの成長を見守る機会にした。例えば、大工仕事を行うイベントでは父親である男性が大勢参加した。また、参加者の特典としては簡単な景品を用意するぐらいだが、大勢の前で表彰し評価することで自尊心を芽生えさせることが最大の効果となった。

2. 公民館職員態勢について

多くの事業を展開することで負担が生じているのは事実であるし、その内、非常勤である田中さんの退職も考えられるが、仕事は他の主事とも共有し、館長や公民館運営審議会なども情報共有しているので、引継ぎ等問題にはならない。人が変わることで取り組む内容に変化が生じることもあるが、それによって新たな地域ニーズの掘り起こしにつながることもある。

※田中さんは特別職の非常勤として勤務。

3. 地域との連携について

50代、60代をどう引っ張り出すか。また、来ない人、来られない人たちをどう公民館と繋げていけるかは大きな課題である。

自治会との連携について、この小学校区内には26の自治会があり、その連合会の拠点も公民館であり、またそれぞれの自治会の拠点も公民館になっている。会合なども公民館で行われるので、地域の課題がここに集まってくる。

また、行政施策の周知などは、各自治会や団体との連携の中で行われるので隔々まで行き渡る。行政部署が異なる事業も似たようなものであれば一緒にすることで、負担を軽減しながら両方の補助金を活用して事業を行うなどの工夫をしている。

4. 中学生の活動について

中学生は、小学生の指導・助言役としての存在で、公民館活動の中でも役割を担ってくれている。「1部活動1ボランティア」を合言葉にほとんどの生徒が年に1回は地域活動に参加するようになった。

また、福井マラソンの給水ポイントでの中学生によるボランティアは、生徒が地域の奉仕活動やまちづくり活動等に参加する「地域活動ボランティア」制度を活用し、学校現場へ直接の依頼ではなく、公民館を窓口にすることによってスムーズに対応できた。

【所見】

田中さんの言葉に「公民館ビル」という仕組みを表現した言葉があったが、小学校区には学校はもちろん、公民館があり、児童館があり、地区の社会福祉協議会、自治会連合会と各自治会、民生委員などの組織・団体があり、そういった様々な地域活動や情報が「公民館」という一つの拠点で集約され、地域の連携を生み出している。公民館が発行している広報紙が、地域広報として地域の様々な情報を掲載していることは、その成果の表れでもある。まちづくりにおいて、やはり拠点となる施設は重要であり、そこで人や活動をつないでいけるコーディネーターは必要不可欠であると感じた。社北公民館でも非常勤主事として働く田中さんの役割は大きく、そういった人材を配置し、継続して勤務できる仕組みを作った福井市には学ぶところが多い。

もう一つ大事なことは、各団体が考える地域が「小学校区」という一つの概念で統一されていることである。今、那覇市が全小学校区36の校区まちづくり協議会を設立しようという中で、この「地域」という概念を整理することは非常に重要なことではないかと感じた。

那覇市の「小学校区まちづくり協議会」を設立から真に地域の連携を生み出す場へ、協働によるまちづくりへと発展させるためにも、圏域の整理、拠点施設の整備、そして人材確保について早急に取り組まなければならないと考える。

永平寺町観光事業ヒヤリング及び新たな門前町建設現場視察報告

福井県永平寺町は、大本山永平寺を中心とした知名度の高い観光地であるが、近年は観光客の減少という課題に直面する中、その打開策として外国人観光客をターゲットに絞り、地域や企業と共に魅力ある観光・文化のまちづくりを進めている。その具体的な取り組みについて視察を行った。

【対応】 永平寺町商工観光課 ████████ 様
██████████ 様

【視察内容】

1. 永平寺町の観光と外国人誘致の取り組みについて

外国人観光客の絶対数は少ないものの、年々好調に推移している。中華圏が7割を占めているが昨年度より英語圏からの観光客が大きく伸びている。町単独の取り組みとしては、門前町 Wi-Fi 環境整備により観光客の利便性を図る、多言語パンフレットの作成（英語・イタリア語）、平成27年度にはイタリア・ミラノ博へ出展し、「禅ZEN」ブランドと町の観光PR等を行っている。

ただ、小さな町単独で外国への対応は予算的にも厳しく、そのため広域での対応として4市1町が連携した「越前加賀インバウンド推進機構」という組織を立ち上げ、目指す方向を一つ（例：国）にした取り組みを始めている。受け入れ体制の整備として、多言語の広域パンフレットとの作成、デジタル化、観光アプリの開発、特に外国人観光客対応の強化を目的とした観光コンシェルジェ育成研修は注目したい。

2. 総本山永平寺との連携について

県を代表する観光地である永平寺だが、やはり「修行の場」であり「観光地」ではないという認識からか、これまでは距離があった。しかし、近年の外国人観光客の増加や環境の変化に伴い、行政等と連携した取り組みを行うことになった。それが、永平寺門前まちなみ整備事業である。（現地視察）

大本山永平寺を核として、「禅の心」をコンセプトに門前宿泊施設や旧参道の再生整備、永平寺川の修景、観光案内所等の事業を県、町が連携して進めている。さらに、大手事業所森ビルがこの事業を手掛けている。

【所見】

行政と地域と事業所が一体となって歴史あるものを大切にしながら、さらにその魅力を掘り起こすことで観光地としての発展に繋げようとする取り組みは素晴らしい。また、文化に着目することは今後の外国人観光客のニーズにも応え得るものだと感じ

た。

沖縄県は観光客 1000 万人を目前にして、特に増加著しい外国人観光客への対応はまだまだ十分とは言えない。沖縄らしさをどのように発信し、体感してもらえるのか。県都那覇市、沖縄の玄関口として、行政、民間企業、地域が協働して取り組むことを推進したい。

滋賀県長浜市観光まちづくり視察報告

明治時代から続く「黒壁」の愛称のもと、北国街道沿の伝統的家屋の街並みを保存、活用した「黒壁のまちづくり」について、商業地として、観光地として周辺地域も含めた取り組みを視察した。

【所見】

古いものの中に新しいものが配された街並みは、北国街道沿いという線ではなく面にとらえたまちづくりである。まち全体に清潔感があり、歴史を感じながらも今を体験できる場となっている。現地にある観光案内所、情報誌発行、ガイドなどNPOが運営を行っている。また、まち周辺に駐車場と観光バスの駐機場もあり、駅も近く、交通の便がいい。

那覇市の国際通りが観光客で溢れ、喧騒の中にあることと比べると、文化的な空気の中で落ち着いて歩けるまちであると感じた。那覇市の中心市街地ではない地域、例えば首里で、真和志で、小祿で、そのようなまちづくりも可能ではないだろうか。また、久茂地地域を歩いて楽しめるまちへという施策があるならば、しっかりとしたコンセプトのもとで進めなければならないと感じた。点でも線でもなく、面にとらえるまちづくりを目指したい。



社北公民館にて



永平寺町魅力発信拠点施設えい坊館にて



永平寺門前まちなみ整備事業現場にて



福井市社北公民館

館長 間

和生



千九一八〇五五
福井市若杉四丁目三〇八

福井市社北公民館

主事

田中 典子

Noriko Tanaka

〒918-8055 福井県福井市若杉4丁目308



福



永平町
イメージキャラクター
"えいへいちゃん"

〒910-1192

福井県吉田郡永平寺町松岡春日1-4



福井県永平寺町
商工観光課

課長

清水 和仁

めぐる旅 心つながる清酒のまち えいへい



永平町
イメージキャラクター
"えいへいちゃん"

えいへいちゃん大層ながし

主事

大森 峻

Shun Ohmori

永平寺町 商工観光課

〒910-1192

福井県吉田郡永平寺町松岡春日1-4



最終旅程表

(会派人数分まとめて予約)

DA1009246-001

| ウエハラ ヒサコ | | ご一行様 | | | |
|---------------------------|-------------------------|------------------------------|-----|---|---|
| 月/日 | ご旅程 | お食事 | | | |
| 10/25(水) ~ 10/26(木) | ホテルフジタ福井 (★きまま北陸 下期) | チェックイン 14:00 到着予定時間 18:00 | - | - | - |
| | | | 朝 | - | - |
| | | | 【旅】 | | |
| 10/26(木) ~ 10/27(金) | ホテルフジタ福井 (★きまま北陸 下期) | チェックアウト 11:00 | - | - | - |
| | | | 朝 | - | - |
| | | | 【旅】 | | |

ご案内

各行程欄の記号ご説明
【旅】 ご利用の際は施設にこの旅程表をご提示ください。
 ◎ご到着時間を変更される場合は、宿泊施設へご連絡ください。
 ◎ご旅行にご参加のお客様へ
 ご出発前に「ご旅行にあたっての注意事項」を必ずお読み下さい。(BOX#35001)

ご利用案内

10/25 ★きまま北陸 下期 (6AHA72A-0)
 福井(5377-012) 代表者氏名: ウエハラ ヒサコ様
 ~ 2泊 ホテルフジタ福井
 シングル朝食付
 1泊朝食 シングル 2室 (バス・トイレ付)
 朝食: レストラン/バイキング
 人員: 大人 2名
 住所: 福井市大手3-12-20
 電話: 0776-27-8811
 交通: 【公共交通機関利用】 JR北陸線福井駅西出口→徒歩約8分またはタクシー約3分
 【車利用1】 北陸自動車道福井ICより国道158号線約5km約15分
 N5EC7H-01
 P5EC7H-01

10/25 ★きまま北陸 下期 (6AHA72A-0)
 福井(5377-012) 代表者氏名: ウエハラ ヒサコ様
 ~ 1泊 ホテルフジタ福井
 禁煙シングル朝食付
 1泊朝食 シングル 1室 (バス・トイレ付)
 朝食: レストラン/バイキング
 人員: 大人 1名
 K6EC7H-01

旅行代金のご案内 (旅程表に含まれるお支払い代金)

| | | | | | |
|--|----|--------------|----------|----|---------|
| ★きまま北陸 下期 (6AHA72A-0) 3種 10/25 ホテルフジタ福井 | 1名 | 1室 代金適用 (大人) | 6,800円 × | 2名 | |
| | | | 小計 | | 13,600円 |
| ★きまま北陸 下期 (6AHA72A-0) 3種 10/25 ホテルフジタ福井 | 1名 | 1室 代金適用 (大人) | 6,800円 × | 1名 | |
| | | | 小計 | | 6,800円 |



最終旅程表

DA1009246-001

旅行代金のご案内 (旅程表に含まれるお支払い代金)

★きまま北陸 下期 (6AHA72A-0) 3種

10/26 ホテルフジタ福井

1名 1室 代金適用 (大人)

6,800円 × 2名

小計 13,600円

CR その他 ()

旅行代金合計 34,000円

旅行代金合計に含まれるもの

◎旅程表に明示した運送機関の運賃・料金、宿泊・食事・入湯・観光代金及び消費税等諸税。

上記諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても払戻しはいたしません。

(注) 宿泊施設において、お客様が酒類・料理その他サービス等を追加された場合は、

消費税等諸税が課せられますので、あらかじめご了承ください。

◎旅程表中運送機関、宿泊・食事・観光施設名に【手配】と記載されている場合は、該当する施設の

宿泊確認票またはクーポン券類が別途発行されています。お客様の総旅行費用は、上記「旅行代金合計」と

宿泊確認票またはクーポン券類に明示された料金を合算したものとなります。

行企画・実施 サン&サン (JTBガイアレック)
取扱販売店 中央ツーリスト 本社 (P218)

取扱販売店

中央ツーリスト 本社

〒900-0024

沖縄県那覇市古波蔵1-5-1

TEL 098-854-5454

お客様のご都合で旅行取消の場合は、取扱販売店に連絡をお願いします。但し、取消を決意された日から旅行開始日当日まで取扱販売店が休業日又は営業時間外で連絡がとれない場合は、宿泊施設や各交通機関に**お客様ご自身**で取消の連絡、手続きをいただいた後、取扱販売店にお申し出ください。取消をされなかった場合は、権利放棄となり、一切の返金を受けられないこととなりますのでご注意ください。なお、払戻は**出発日より1ヶ月以内**に取扱販売店にて承ります。

BOX NO.

10/25 35001

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

No. [Redacted]

上原 仙子 様

¥ 65,760-

金六萬五千七百六十圓也



但し 往復航空券代、宿泊代 について

(10/25-27 那覇-関西)
(10/25-2泊 福井)

上記の金額正に領収致しました。

平成 29 年 10 月 13 日



領収者印



本店 〒900-0024 沖縄県那覇市古波蔵1丁目5番1号 TEL(098)854-5454
イオンモール沖縄ライカム店 4F (トイザラス隣り)

イオン那覇店 沖縄県那覇市金城5-10-2 3F イオン名護店 沖縄県名護市見取川原4472 那覇島石垣店 沖縄県石垣市真栄里289-1
 蒲添店 沖縄県蒲添市城間4-7-1 イオン南風原店 沖縄県島尻郡南風原町宮平264 宮古島店 沖縄県宮古島市平良字松原551-14
 イオン宮古店 沖縄県豊見城市田頭原155-1

会社印及び領収者印のなきものは無効とする。

領 収 書

平成 29 年 10 月 27 日

上里 直司 様

一金 1,000 円 也

但 永平寺外拝観案内 上記正に領収いたしました

(2名分)



禅の里永平寺
語り部の会



H29/10/27 ¥1,000 (2名分)

(コピー)

¥ 500 (1名分)

原本は上里直司議員の収支報告書に添付

②
寺の修繕準備事業
(永平寺、現地拝観)

按分率

%

充当額

65,760

円

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

(上原 仙子)

領 収 書

Receipt 様

領収年月日 2017.10.25

金額 ¥7,780 (消費税等込み)

(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(3枚)

西日本旅客鉄道株式会社

関西空港駅

関西空港駅F8発行 40501-01

| |
|--------|
| 印紙税申告納 |
| 付につき大淀 |
| 税務署承認済 |

(関西空港→福井)

お客様控

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP

R581

有XX-XX

会社名・会員番号

XXXXXXXXXXXXXXXX

(JR西日本)

取引内容:お買上

支払区分: - 括

¥7,780

商品名: (CS決済)乗車券類

3枚(冊)

10月25日 関西空港→福井 他

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

この控は大切に保存してください。

29.10.25 20499-05

関西空港駅F8発行

受領書(交通費等)

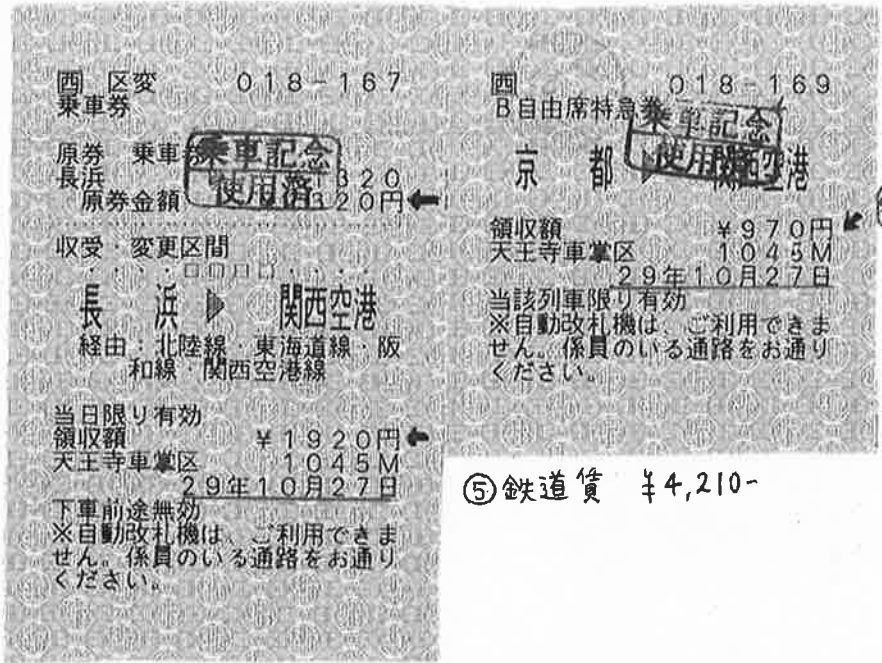
議員名 上原 仙子

| 使途項目 | 調査研究費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--|---------|-------|----|------|-------------------------|-------|------|----------------------|-------|------|----------------|-------|------|------------------|---------|------|---|---------|--|
| 出張日程 | 平成 29 年 10 月 25 日 ~ 10 月 27 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出張先 | 福井市、永平汀良町、滋賀県長浜 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 訳 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>移動区間等</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①バス賃</td> <td>10/25 社北小学校前→東映前 (京福バス)</td> <td>230 円</td> </tr> <tr> <td>②鉄道賃</td> <td>10/26 福井→松岡 (えちぜん鉄道)</td> <td>390 円</td> </tr> <tr> <td>③バス賃</td> <td>永平寺→福井駅 (京福バス)</td> <td>720 円</td> </tr> <tr> <td>④鉄道賃</td> <td>10/27 福井→長浜 (JR)</td> <td>2,840 円</td> </tr> <tr> <td>⑤鉄道賃</td> <td>長浜→京都經由→関西空港 (JR) (3,240) + (970) <small>京都の特急</small></td> <td>4,210 円</td> </tr> </tbody> </table> | 費目 | 移動区間等 | 金額 | ①バス賃 | 10/25 社北小学校前→東映前 (京福バス) | 230 円 | ②鉄道賃 | 10/26 福井→松岡 (えちぜん鉄道) | 390 円 | ③バス賃 | 永平寺→福井駅 (京福バス) | 720 円 | ④鉄道賃 | 10/27 福井→長浜 (JR) | 2,840 円 | ⑤鉄道賃 | 長浜→京都經由→関西空港 (JR) (3,240) + (970) <small>京都の特急</small> | 4,210 円 | |
| 費目 | 移動区間等 | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①バス賃 | 10/25 社北小学校前→東映前 (京福バス) | 230 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②鉄道賃 | 10/26 福井→松岡 (えちぜん鉄道) | 390 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③バス賃 | 永平寺→福井駅 (京福バス) | 720 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④鉄道賃 | 10/27 福井→長浜 (JR) | 2,840 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤鉄道賃 | 長浜→京都經由→関西空港 (JR) (3,240) + (970) <small>京都の特急</small> | 4,210 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金 額 | 8,390 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

上記のとおり受領いたしました。

平成 29 年 10 月 24 日

議員名 上原 仙子



⑤ 鉄道賃 ￥4,210-

(特急券)

研修費

平成 30 年 3 月 27 日

那覇市議会議長 様

議員名 上原 仙子



研修会・報告会等実施報告書

政務活動費により研修会・報告会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成 30 年 2 月 7 日 午後 2 時～ |
| 場 所 | 那覇市職員厚生会館 3 階ホール |
| 参加者 | 約 40 名 |
| 内 容 | 「沖縄スタディクーポン勉強会」の開催 ・子どもの貧困の課題の一つ「放課後格差」を解消するための学校教育バウチャー制度として、沖縄スタディクーポン（仮称）を導入するため、県外で活動実績のある NPO 法人チャンス・フォー・チルドレン代表今井氏を講師に講演会を行った。対象は、市内外の市民、議員、役所職員等。 |
| 備 考 | 開催に伴う費用を主催者 2 名で按分 【費用の内訳】 多目的ホール使用料等 20,000 円（1 名分 10,000 円） 講師料（旅費等含む）として 50,000 円（1 名分 25,000 円） 講師用飲料水代 324 円（1 名分 162 円） |

[所 見]

子どもの貧困対策は、ややもすれば、低所得者層のみに目が向けられがちだが、相対的貧困とも言われるように、表になかなか見えてこない子どもたちにどうい
う手を差し伸べられるかは、大事な視点と考える。従って、このスタディクーポ
ンが、より広く、多くの子どもたちの希望へと繋がるものであることを再認識し、
市、県へとさらに理解を深め広げるよう取り組んでいきたい。

すべての子どもにチャンス
すべての子どもに夢を

沖縄スタディクーポン勉強会

チャンス・フォー・チルドレン
～ 今井悠介代表を招いて ～

平成30年2月7日
那覇市職員厚生会館3階ホール

司会 沖縄スタディクーポン研究会
代表 上里 直司

～ 式次第 ～

○ 開会

○ ご挨拶

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

関西事務局 有銘 佑理 様

◆ 講演

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

代表理事 今井 悠介 様

○ 閉会

主 催：沖縄スタディクーポン研究会

沖縄スタディクーポン研究会規約

(目的)

1 本会は沖縄における教育バウチャー制度（以下、沖縄スタディクーポン）の実現に向けた調査、研究及び提言を行うために設置する

(会員)

2 本会の目的に賛同するものを募り、会員とする

(事務局)

3 本会の事務局は那覇市泉崎 1-1-1 那覇市議会なはの翼 f 協働会派室内に置く

(役員)

4 本会には代表及び役員（若干名）を配置する

以上

本会規約は 1 月 12 日から施行する。

役員名簿

代表 上里直司

事務局長 上原仙子

他若干名

2月7日（水）沖縄スタディクーポン研究会開催概要

1、研究会発足とその意義の発表

2、県外で先行しているスタディクーポン事業の紹介と沖縄における導入の意義について
NPO 法人チャンスフォーチルドレン今井代表を招き、講演をしていただく

3、質疑応答を実施し、本事業の意義を深掘りしていく

以上

控え

(様式第1号)

那覇市職員厚生会福利厚生施設使用 (変更) 申込書

平成30年 1月 25日 申請
年 月 日 変更・取消

那覇市職員厚生会
理事長 久場 健護 様

申請者 所属(団体名) 中視マナー・マナー研究会
氏名 上里直司
住所 那覇市泉崎1-1-1
連絡先 090-7202-1917

次のとおり使用したいので申請します。なお、許可の上は利用規程を遵守することを申し添えます。

| | | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|--|----------------------|
| 1. 使用者 | <input type="checkbox"/> 那覇市職員 <input type="checkbox"/> 那覇市職員退職者 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 2. 使用場所 | <input checked="" type="checkbox"/> 多目的ホール <input type="checkbox"/> 中会議室 <input type="checkbox"/> 会議室③ <input type="checkbox"/> 会議室④ (防音) | | | | |
| 3. 使用目的 ※名称・内容・対象者等、詳しく記載をお願いします。 | <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> サークル活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 講座 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> その他 名称: 中視マナー・マナー研究会 内容: 講師によるマナー研修会 | | | | |
| 4. 使用日時 | 平成30年 2月 7日 (水) 13時00分から 平成30年 2月 7日 (水) 17時00分まで | | | | |
| 5. 利用人数 | 80人 (予定人員) | | ※使用時間 時間 × 日間 | | |
| 6. 付属設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 音響設備 (ホールのみ) (500円 × 回数) ※マイク使用本数 (4本中 4本) <input type="checkbox"/> プラズマテレビ(50型)・DVD (500円 × 時間) (: ~ :) <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター(4200ルーメン) (1,000円 × 時間) (: ~ :) <input checked="" type="checkbox"/> スクリーン(100型) (500円) <input type="checkbox"/> その他(初任ボード・演台・司会者台・花台・指示棒・レーザーポインター) | | | | |
| | ①付属設備使用料合計 | | | 円 | |
| 7. 利用区分 及び 使用料 | 区分 (一般) | <input type="checkbox"/> 午前 (9:00~12:00) | <input checked="" type="checkbox"/> 午後 (13:00~17:00) | <input type="checkbox"/> 夜間 (18:00~22:00) | ②室料合計 18,000円 |
| | | 円 | | 18,000円 | |
| ※施設使用料合計 (①付属設備使用料合計+②室料合計) | | | | = 0,000円 | |
| 8. 備考欄 | ※持ち込み機材・機器類がある場合は、必ずご記入ください。 | | | | |

上記申請のとおり許可してよろしいか。

| | | | | | | | | | | | | |
|----|----|---|---|---|-----|-----|----|----|-------|------|---|--|
| 受付 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 決裁欄 | 理事長 | 局長 | 次長 | グループ長 | 主任主事 | 係 | |
| 許可 | 平成 | 年 | 月 | 日 | | / | / | / | | | | |
| 不可 | 平成 | 年 | 月 | 日 | | | | | | | | |

※お願い⇒使用料は前納となっておりますので、使用する前日までにお支払ください。

平成 29 年度

議員名 上原 仙子

整理番号

1

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

印紙税法第5条
別表1の17の規定により非課税

№ 012270

| | | |
|-------------------|-----------|--------|
| 会計年度 | | 現金領収証書 |
| 29 年度 | | |
| 課名 | | |
| 職員番号 | 沖縄県立総合研究所 | |
| 氏名 | 代表 上里直司様 | |
| 科目 | 金額 | |
| 多目的ホール使用料 | 18,000 | |
| 音響設備使用分 | 500 | |
| 700円座席料 | 1,000 | |
| スクリン | 500 | |
| (1/30 利用分) | - | |
| 合計 | ¥20,000 | |
| 平成30年 2 月 2 日 領収済 | | |
| 那覇市職員厚生会 | | |
| 理事長 久場 健 | | |



¥20,000 ÷ 2名 = 1人あたり ¥10,000

● 主催者人数（上里直司、上原仙子 2名）で按分

按分率 50 %

充当額 10,000 円

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領 収 証

沖縄スタディクーポン研究会
 代表 上里 直司 様

¥50,000-

但し、沖縄スタディクーポン勉強会における講師料といたしまして
 (交通費含む)

平成30年2月7日

兵庫県西宮市甲風園1丁目3-12 カミヤビル3階
 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

代表理事

今井 悠介

【内訳】 日当 2,200 円 × 2 名 = 4,400 円

宿泊料 9,800 円 × 2 名 = 19,600 円

講師謝礼 5,000 円 × 2 時間 × 2 名 = 20,000 円

兵庫県からの交通費 (2 名分) として 6,000 円

不足分は講師負担。

¥50,000 ÷ 2 名 = 1 人あたり ¥25,000 (2)



那覇新都心メディアビル店
 沖縄県那覇市おもろまち1丁目3番
 31号
 電話：098-941-3015

領 収 証

● 主催者人数 (上里直司、上原仙子 2 名) で按分

2018年 2月 7日

様

¥324-

但し飲料水代として

税抜商品額 ¥300
 消費税等 ¥24

クレジットカード利用により

上記正に領収いたしました

講師用の飲料水代

¥324 ÷ 2 名 = 1 人あたり ¥162

按分率

%

充当額

25,162

円

資料作成費

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

上原 仙子

2017年10月12日(木)

領 収 証
様

¥ 8, 2 0 8 -

上記正に領収しました (消費税等 608円を含みます)
 メイクマン豊見城店
 沖縄県豊見城市田頭187番
 TEL: 098-840-


担当者 

*保管上のお願い
 財布等で保管戴く場合、印刷面を大切に折って保管願います。

住まいと暮らしのDDI Yセンター



領 収 証
領収証発行済

豊見城店 TEL 098-840-5100
 お買上ありがとうございます。

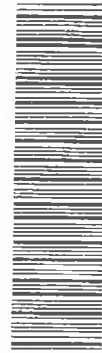
2017年10月12日(木) No. 0002

140600 穴あけパンチ ¥8,208

小計 ¥8,208
 【合計】 ¥8,208

お預り ¥10,210
 お釣り ¥2,002
 (消費税等 ¥608)

＜ お願い ＞
 返品・交換の際はレシート持参の上、1週間以内に当店サービスカウンターまでお申し付け下さい
 営業時間 AM 9:30 ~ PM 8:00



No. 6505 1点買 19:15TM

資料購入費

- 【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請 求 書

2017 年 9 月 12 日

上原 仙子

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹 長

東京都港区虎ノ門1-2-8

電話 03 (5) 402-7777

お支払い先

- ・振替払込
- ・銀行振込

・口座名義

| | | | | | |
|-------|----------|-------|--|-------|--|
| 合計請求額 | 16,200 円 | 読者コード | | 請求書番号 | |
|-------|----------|-------|--|-------|--|

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

| | 品 名 | 部 数 | 期 間 | 金 額 | 備 考 |
|-------|--------|-----|------|----------|-----------------|
| 前回請求額 | | | | 円 | |
| 今回入金額 | | | | 円 | |
| 差引繰越額 | | | | 円 | |
| 今回請求額 | 日本教育新聞 | 1部 | 6ヶ月分 | 16,200 円 | 2017/09-2018/02 |
| 合計請求額 | 日本教育新聞 | 1部 | 6ヶ月分 | 16,200 円 | 2017/09-2018/02 |

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

| | | | |
|---------------------|--------------|----------------|---------------------------|
| この受領証は、大切に保管してください。 | 001508196500 | 日本教育新聞社 | CVS 収納用 収入印紙 貼付欄 |
| 加入者名 | 日本教育新聞社 | | |
| 金額 | 16,200 円 | | |
| 振込先 | 銀行 | 支店 | |
| ご依頼人 | 上原 仙子 ✓ | | |
| 料 金 | 円 | 日 | (お客様控) |
| 備 考 | | 附 印 | |

(ゆうちょ銀行)

按分率

%

充当額 16,200

円

【項目】 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

請求書

2018年 3月 20日

上原 仙子

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹 長

東京都港区虎ノ門1-2-8
 電話 03 (51510) 7777

お支払い先
 ・振替払込
 ・銀行振込
 ・口座名義

| | | | | | |
|-------|----------|-------|--|-------|--|
| 合計請求額 | 16,200 円 | 読者コード | | 請求書番号 | |
|-------|----------|-------|--|-------|--|

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

| | 品 名 | 部 数 | 期 間 | 金 額 | 備 考 |
|-------|--------|-----|-----|----------|-----------------|
| 前回請求額 | | | | 円 | |
| 今回入金額 | | | | 円 | |
| 差引繰越額 | | | | 円 | |
| 今回請求額 | | | | 円 | |
| 合計請求額 | 日本教育新聞 | | | 16,200 円 | 2018/03-2018/08 |

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

| | |
|---------|---------|
| 001508 | 196500 |
| 日本教育新聞社 | |
| 金額 | 16200 円 |
| 銀行 | 支店 |
| ご依頼人 | 上原 仙子 ✓ |
| 料金 | 0 円 |
| 備考 | |

(ゆうちょ銀行)

3月分2,700円を充当
 (16,200円÷6ヵ月)

按分率 %

充当額 2,700 円